

大学におけるAIと倫理

AI(人工知能)技術の活用は急速に私たちの日常生活の一部になりつつありますが、AI技術の進歩がもたらす私たちの社会生活や思考パターンの変化は、まだ十分に明らかになっていません。一方で、プライバシーや著作権の侵害、差別やバイアスの助長をはじめ、AIを活用することによる新たな倫理的な課題について、多く指摘されています。本セミナーでは、3人の先生方のご講演を通して、特に大学というアカデミックな環境において、私たちがどのようにこれらの倫理問題に向き合いつつ、新しい教育環境を創出していくべきか、その道筋を探ります。



開催日 2026年 **2/16 (月)**

時 間 10:00-12:00
(開場 : 9:45)

申 込 こちらのQRコードから
事前申し込み要
2/13 (金) 正午〆切



会 場 国際高等教育院棟の講義室31
<https://www.z.k.kyoto-u.ac.jp/facility-guide/ilas-bldg>

対 象 京都大学教職員

形 式 Zoomと対面のハイブリッド
事後配信なし

<プログラム>

司会：岡本 雅子（データ科学イノベーション教育研究センター 特定講師）

10:00 - 10:05 開会・趣旨説明
北村 由美（附属図書館研究開発室 准教授）

10:05 - 10:35 第一講演
AIと法：AIは我々の社会をどう変化させうるのか
稻谷 龍彦（法学研究科 教授）

10:35 - 11:10 第二講演
生成AIで変わる高等教育：インドネシアTelkom大学の経験から
石田 亨（京都大学 名誉教授／Telkom大学客員教授）

11:10 - 11:45 第三講演
AIリテラシーと倫理に関する全学教育の取組
河原 達也（情報学研究科 教授 /
情報学研究科次世代情報AI教育研究センター長/ 図書館機構副機構長）

11:45 - 12:00 質疑応答